

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
声優・演劇科											
アフレコⅠ											
対象	2 年次	開講期	前期	区分	選	種別	実習	時間数	105	単位	3
担当教員	千葉 繁			実務経験	有	職種	声優				
授業概要											
アフレコやプレスコ実習を中心に演技と録音スタジオでの技術を学びます。											
到達目標											
一年次より習練した演技を、具体的かつ明確に、観客・又は求められた現場で可視化する事が出来る。絵に合わせるのではなく、キャラクターの心を表現できるようにする。スタジオでのマナーも身につく。声優という芸能の一分野で社会人として評価され、長期に渡り活動可能な役者になる基盤を作る。さらに演劇を通じ自己を開放、表現する事を身に付け、自己肯定感を上げる事により社会組織において、深みのある人間関係を構築出来る。											
授業方法											
基本発声、滑舌、エチュードを個人、グループワークにて繰り返し習練する事により体得する。また、アニメ、外画、ナレーション、CDドラマ、ラジオなど声優に必要な技術と感情表現を講師が都度用意する台本、映像を使用し、実践しながら学んでいく。											
成績評価方法											
授業における意欲、態度、集中力を総合的に見て評価する。											
履修上の注意											
学生間、学生とのコミュニケーションを重視する。芝居、表現を習得すると同時に、他学生の演技を評価、取り入れる目、耳を養うため、私語や授業態度には厳しく対応する。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験できない。											
教科書教材											
毎回台本を配布する。											
回数	授業計画										
第1回	自分の目標を明確にする										
第2回	1年次を振り返り、課題を見つける										
第3回	声優の職業内容、意義を知る										

2020年度 日本工学院八王子専門学校	
声優・演劇科	
アフレコⅠ	
第4回	スタジオ現場を体験
第5回	声の表現1
第6回	表現の深さ、広がりを知る
第7回	スタジオでの実地練習1
第8回	社会に出てから必要な力を養う1
第9回	スタジオでの実地練習2
第10回	社会に出てから必要な力を養う2
第11回	スタジオでの実地練習3
第12回	課題、スピーチ力を養う1
第13回	声の表現2
第14回	スタジオでの実地練習4
第15回	社会に出てから必要な力を養う3